



# 杣山城跡

鎌倉時代末期に瓜生氏によって築城されたといわれています。北陸道に面し越前国府からも近距離にあることから、南北朝時代から戦国時代にかけての越前における覇権争いにおいて拠点となった城です。山頂一帯に築かれた山城は良好に保存されており、城下にも城主の館や武家屋敷などが存在しています。



# 花ハス

花について

ハスは「泥より出でて泥に染まらず」という言葉のとおり、泥の中で育ったのかと驚くほど美しい花を咲かせます。南越前町を代表する「誠蓮」をはじめ薄紅の花という印象が強いですが品種により紅、白、爪紅、斑など色彩豊かな花もあります。

花は短命で開花から毎日開閉を繰り返して、4日を経て蓮台を残し散っていきます。この間に地下茎で繋がる別の節から新たに芽が伸び、花が咲き続けていくことから「一蓮托生」の言葉の由来とも言われています。

花はす公園

花はす公園では、3万3千㎡の敷地に日本や中国の品種を主とし世界各地の品種およそ120、130種類のハスを栽培しています。観賞池でのプランター栽培、蓮田での自然栽培に分かれており、景観のハス、原風景の蓮を鑑賞していただくことができます。

毎年6月下旬～8月上旬には「はすまつり」が開催され、南越前町の夏の風物詩として人々に親しまれています。